

第1 令和3年度事業総括

小動物、産業動物、公衆衛生等各分野で働く本会会員が、自らの倫理の高揚と実践・普及及び獣医師の人材育成に努めることにより、動物に関する保健衛生の向上、動物愛護精神の涵養、安全安心な畜産食品の生産振興、人の公衆衛生の向上及び社会福祉の増進などを図って地域社会への貢献を目指して活動した。

具体的な方策として、以下の活動を実施したが、令和元年度末から続いている新型コロナウイルス感染症により、事業の実施は制限を受けた。

【公益目的事業】

1 獣医学術及び技術の振興・普及及び獣医師人材育成に関する事業

新たな獣医学術及び保健衛生の向上を図るため、獣医療や獣医学教育の推進を目的とした学会、研修会、講習会等を開催し、最新の獣医療の情報共有と人材育成を行うことが趣旨であるが、県学会、研修会、講習会等は新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんど開催できず、また、獣医学術中国地区学会、日本獣医師会獣医学術学会年次大会も動画による開催となった。

それに対して、各種のオンラインセミナーを会員に広報するとともに第103回日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会への後援、オンラインセミナーやWEB配信の各種セミナー、シンポジウム等を会員に会報、ホームページ等を通じて広報、案内を行った。

2 人と動物が共生できる社会環境づくりに関する事業

人獣共通感染症である狂犬病の予防等のため、予防注射の推進等適切な指導を推進するとともに、動物に関する保健衛生及び人の公衆衛生の向上を図ることにより、人と動物が共生できる社会環境作りに取り組むための事業を実施した。

また、公益社団法人鳥取県畜産推進機構と連携協調し、指定獣医師による予防注射業務の円滑な推進に協力及び公益財団法人動物臨床医学研究所との連携により愛護動物の福祉・環境改善の高揚などを図った。

3 飼養動物等に関する知識・技術の普及啓発及び猫の不妊・去勢手術等の助成に関する事業

動物愛護フェスティバルでの無料相談コーナー設置など飼養動物等（愛玩動物、家畜、野生動物等）の習性や飼養管理、病気等に関する情報を提供するとともに、不妊・去勢手術の必要性の啓発活動を実施した。さらに、県事業を活用し猫の不妊・去勢手術を助成し、もって動物愛護精神の高揚を図り、人と動物が共生する地域社会の発展を図るための事業を実施した。

さらに、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく所有明示措置を推進するため、マイクロチップの装着の普及を図った。

また、県内小学校の飼養動物について飼養相談・助言指導の実施を検討するため、実施の意向調査を行った。

その他の取組概要

【会員等相互扶助等に関する取組】

公益目的事業の推進に資するため、獣医事に係る諸問題へ対応するとともに、会員等の活動支援や会員の福利厚生を行った。

1 獣医事の推進

中国地区の各獣医師会と連携し、①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正、②獣医師養成確保修学資金給付事業の広範活用、③伴侶動物における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）のサーベランスの実施と検査・診断体制の整備、④「獣医療法」第17条（広告の制限）及びその適正化のための監視指導に関する指針（獣医療広告ガイドライン）の見直しについて、日本獣医師会を通じて国に継続要望した。

また、公務員獣医師確保と処遇改善の取り組みとして、鳥取県獣医師連盟と連携して、鳥取県議会議員の超党派議員と「公務員獣医師確保対策の必要性について」意見交換し、対策の実現に向けて応援を依頼し、鳥取県獣医師職員の令和4年度の初任給調整手当の大幅アップを実現するとともに、農業共済獣医師の処遇改善にも結びつけた。

2 会員等活動支援

- (1) 日本獣医師会雑誌を正会員に配布し、獣医学術及び会員情報等を伝達した。
- (2) 鳥取県獣医師会会報を毎月発行（第555号～第566号）、全会員に配布し、本会業務の伝達、各種情報の提供を行った。
- (3) ホームページを充実し広く本会のPRに努めるとともに、会員コーナーで情報提供に努めた。
- (4) 獣医学術及び本会の発展に寄与された会員に対し鳥取県獣医師会会長表彰、中国地区獣医師会連合会会長表彰、日本獣医師会会長表彰を授与し、地元鳥取大学農学部共同獣医学科を優秀な成績で卒業する学生に表彰を行った。

3 福利厚生の推進

会員に対する慶弔、獣医師総合福祉生命共済制度等への加入促進を行った。

第2 事務概況

1. 行事

(1) 監査会

R 3. 4. 23 令和2年度事業監査会（於 本会事務所）
令和2年度における会計及び業務監査

(2) 総会

3. 6. 6 第69回定時総会（於 倉吉市：倉吉シティホテル）
令和2年度事業報告及び収支決算、令和3年度事業計画及び収支予算

(3) 理事会

3. 5. 6 第193回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
第69回定期総会招集
第69回定時総会提出議案、功労者表彰、役員選任規程の一部改正

3. 6. 6 第194回理事会（於 倉吉市：倉吉シティホテル）
会長・執行理事の選任

3. 7. 15 第195回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
日本獣医師会会長・中国地区連合会会長表彰の表彰者の推薦
特別会員の承認

3. 11. 18 第196回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
公益事業の整理方針
令和5年度獣医学術中国地区学会の開催日時及び会場
旅費規程の一部改正

4. 3. 17 第197回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
令和3年度補正予算案、令和4年度事業計画案及び予算案
災害担当理事の設置、特別会員の承認

(4) 小動物臨床部会関係

3. 12. 21 小動物臨床部会役員会議（於 鳥取市：獣医師会事務所）
県・市町村・小動物病院長への狂犬病予防業務等に係る意見照会に対する協議

4. 3. 15 東部地区令和3年度狂犬病予防注射実施協議会

4. 3. 16 中部地区 //

4. 3. 18 西部地区 //

令和4年度狂犬病予防注射の実施
鳥取県・鳥取市からの情報提供
動愛法改正に伴うペット保管業の数値強化

動物虐待ガイドライン（案）
愛玩動物看護師
動愛法改正とマイクロチップに関する諸課題
令和4年度獣医師会新規事業

(5) 産業動物臨床部会関係

- 4. 3. 2 東部家畜防疫協議会定例会（豚熱ワクチン接種委託事業概要説明）
- 4. 3. 8 中部家畜防疫協議会定例会（ ” ” ）
- 4. 3. 24 東部地区豚熱ワクチン接種委託事業に係る獣医師への説明会
- 4. 3. 25 中部地区 ”
- 4. 3. 28 西部地区 ”

(6) 鳥取県農業共済組合関係

- 4. 3. 10 於 鳥取市：損害評価会家畜共済部会

(7) 日本獣医師会関係

- 3. 6月（書面決議） 日本獣医師会第78回通常総会
- 3. 7月（書面開催） 全国獣医師会事務・事業推進会議
- 3. 10月（書面開催） 全国獣医師会会長会議
（2021動物感謝デーは開催中止）

(8) 中国地区獣医師会連合会関係

- 3. 4. 8 於 岡山市：令和3年度定期総会
- 3. 8. 18 （書面議決）：第1回臨時総会
- 3. 10. 24 於 広島市：令和3年度会長会議
- 3. 11. 26 於 岡山市：令和3年度獣医公衆衛生講習会（中国地区）
- 4. 2. 27 於 松江市：令和3年度小動物講習会（中国地区）会場参加とWEB参加
（開催中止）
令和3年度中国地区獣医師会連合会会長会議・事務局会議
令和3年度中国地区開業部会連絡協議会定期会議
令和3年度産業動物臨床講習会（中国地区）

(9) その他

県くらしの安心局くらしの安心推進課、県農業振興戦略監畜産課、鳥取県農業共済組合、（公社）鳥取県畜産推進機構、（公財）鳥取県食鳥肉衛生協会、鳥取県公衆衛生協会、鳥取県食中毒防止対策協議会等、関係機関との連携を図り、会議、打合せ等が開催される場合に可能な限り参画した。

2. 会員の動向

(1) 顧問 福田 豊 氏、山根 義久 氏、石田 茂 氏

(2) 正会員 254名

支部	R3年度初 現在数	支 部 間 異 動		入 会	退 会	R3年度末 現在数
		入	出			
東 部	91	小谷 道子 中村耕太郎 坂本 恵	青菽 芳幸 山根 法明 最首 信和 林原 健吉 柄 裕子	大槻 公一 岸田 光 宇留野勝好	川崎美苗 竹森敬 日高第五 前田豊 山本桂子	87
中 部	91	下岸 照和 山根 法明 岡田 綾子 岡本 聡子 織奥 学 林原 健吉 早志 敬治 柄 裕子	門木 淳子 小谷 道子 水野 恵 大友 麗 佐倉 千尋 中村耕太郎 小林 努 小笠原剛士 山崎 浩一	米田 結花	小西奈菜子 田中比奈子 森川 伸昭 (特別会員へ) 中村 勇夫 西谷 悦夫	86
西 部	81	門木 淳子 青菽 芳幸 水野 恵 最首 信和 大友 麗 佐倉 千尋 小林 努 小笠原剛士 山崎 浩一	下岸 照和 岡田 綾子 岡本 聡子 織奥 学 坂本 恵 早志 敬治	田仲 真之	大下 宏 小倉 菜 田仲 真 小西 一 西 之	81
	263	20	20	5	14	254

※支部間の異動は、令和4年4月1日付け人事異動も反映する。

(3) 特別会員

終身会員 生田 常雄、石川 啓作、上田 昭夫、遠藤 喜久、太田 勝己、太田垣公利
(27名) 金田 耕治、木嶋 朗博、岸本 靖、小谷 光男、清間 通、竹本 巖
田村 知央、田村 儀一、角田 幹、中村 勇、中村 悦夫、那須和四郎
西谷 悦夫、白間 実、福井 忠義、本田達之助、三田 早苗、宮石 憲士
安田 公正、山根 礼吉、山根 徳久

名誉会員 伊澤 史隆、石黒 仁志、岸本 務、齋尾 秀隆、山中 哲雄
(5名) (退会) 福田 眞章

(4) 賛助会員

(公社)鳥取県畜産推進機構、鳥取県農業共済組合、大山乳業農業協同組合、
米久おいしい鶏(株)、(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会、MPアグロ(株)、(株)アスコ

(5) 会員逝去 河本 修司(終身会員)、長谷川 重美(終身会員)、前場 武弘(終身会員)
吉田 章三郎(終身会員)

第3 事業概況

【公益目的事業】

1. 学術振興

(1) 学会

- 第54回鳥取県獣医学会（開催中止）

- 令和3年度獣医学術中国地区学会（動画発表及び事前審査により開催）
 - 3. 10. 17 於 広島市：ホテルグランヴィア広島
 - 発表演題数 108題
 - 日本産業動物獣医学会 38題（鳥取県： 2題）
 - 日本小動物獣医学会 45題（鳥取県： 3題）
 - 日本獣医公衆衛生学会 25題（鳥取県： 0題）
 - 3. 11. 15 ホームページに講演要旨をリンク

- 第41回動物臨床医学会年次大会（WEB開催）

- 令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（オンデマンド配信による開催）
 - 4. 1. 21～ 2. 6

- ホームページ、会報による情報提供
 - 3. 4. 27 第11回家畜感染症学会連携シンポジウム
 - 3. 5. 21 日本獣医学術学会年次大会代替オンラインセミナー
 - 3. 7. 12 令和3年度農場 HACCP 導入推進強化事業（農場指導員養成研修会等）
 - 第13回日本獣医腎泌尿器学会学術集会
 - 第102回日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会
 - 3. 10. 12 令和3年度臨床獣医師防疫体制強化事業講習会
 - 3. 12. 22 令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会プログラム
 - 第103回日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会申し込み方法
 - 3. 11. 1 第21回アジア獣医師連合（FAVA）大会・第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会
 - 4. 1. 7 連携シンポジウム「ここまでわかった、人と動物における新型コロナウイルス感染症ーコロナ禍におけるペットとの付き合い方ー」
 - 4. 2. 3 福岡県“One Health”国際フォーラム2022

- (2) 講習会・研修会
 - 獣医師を目指す高校生セミナー
 - 3. 8. 3 WEB開催
 - 高校生7名、保護者5名の参加
 - 3. 8. 17 WEB開催
 - 高校生2名、保護者1名の参加

 - 自衛防疫委員会研修会
 - 4. 2. 21 於 鳥取市：因幡牛群サービス事務所
 - 日本獣医師会高度獣医療実習「オンライン Hands-On 大動物臨床実習」
 - 講師：山口大学共同獣医学部 教授 佐々木 直樹 先生
 - 講習内容：オンライン講義「大動物における A0 法を用いた整形外科」
 - オンライン実習「プラスチックモデルを用いた Lag 法、DCP 固定法、LCP 固定法及びキャスト固定の基礎・応用技術実習」
 - 4. 1. 17 （講師先生のウェブ対応不可で中止）
 - 「管理獣医師の実践的な技術・知識を習得するための講習会」
 - 講師：きくち酪農コンサルティング株式会社 菊池 実 先生
 - 講習内容：「酪農の近未来、経営及び牛の観点から」

2. 狂犬病予防注射頭数 (R 3. 3~R 4. 2) 17, 356頭

() は前年同期

地 区	集合注射頭数	個人注射頭数	頭数合計
東 部	360 (661)	5,987 (5,828)	6,347 (6,489)
中 部	563 (487)	2,605 (2,725)	3,168 (3,212)
西 部	1,321 (1,362)	6,520 (6,396)	7,841 (7,758)
計	2,241 (2,510)	15,112 (14,949)	17,356 (17,459)

3. 動物愛護事業

○ 飼い猫の不妊、去勢手術奨励事業 (県事業を活用)

実施頭数：不妊535頭 (1頭当たり4,000円助成) (前年度：447頭)

去勢362頭 (1頭当たり2,000円助成) (前年度：317頭)

合計897頭 (前年度：764頭)

○ マイクロチップ装着推進

代行登録頭数： 206頭 (前年度：202頭)

○ ペット無料相談コーナー

3. 9. 26 動物愛護フェスティバルでの無料相談コーナー設置

○ 県内小学校の飼養動物について飼養相談・助言指導

3. 10. 19 飼養相談・助言指導の実施を検討するための意向調査
(県内小学校118校)

その他の取組

【会員等相互扶助等に関する取組】

1 獣医事の推進

(1) 要望・要請活動

中国地区獣医師会連合会を通じて、(公社)日本獣医師会に次の各号について要請した。

①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正について(継続)

②獣医師養成確保修学資金給付事業の広範活用について(継続)

③伴侶動物における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)のサーベイランスの実施と検査・診断体制の整備(継続)

④「獣医療法」第17条(広告の制限)及びその適正化のための監視指導に関する指針(獣医療法広告ガイドライン)の見直しについて(継続)

(2) 公務員獣医師確保と処遇改善の取り組み

3. 1 1. 8 鳥取県議会議員との意見交換会 於 琴浦町

内 容： 超党派議員で構成される「鳥取県の畜産業の発展を考える会」との意見交換会において、「公務員獣医師確保対策の必要性について」意見交換し、対策の実現に向けて応援を依頼(参加県議18名)

県獣医師職員の令和4年度の初任給調整手当の大幅アップを実現した。

2 会員等活動支援

(1) 奨励

(公社)日本獣医師会、中国地区獣医師会連合会等が主催する行事等についてホームページ、会報、メール等により情報発信し、参加奨励を行なった。

(2) 表彰

①第69回 通常総会(令和3.6.6 於 倉吉市)において会長表彰

大石美智子 氏、木原 明子 氏、田中 恭子 氏、林原 健吉 氏、松井 秋子 氏
森田 剛仁 氏

②令和3年度日本獣医師会会長表彰及び中国地区獣医師会連合会会長表彰(式典なし)

日本獣医師会会長表彰

石田 茂 氏

中国地区獣医師会連合会会長表彰

松田 和義 氏、澤田 雅広 氏、山根 健介 氏

(3) 福利厚生への推進

①慶 弔

慶 事 4件(会員6名) 弔 慰 11件(会員12名)

②福 祉 事 業

獣医師福祉共済制度の推進 生命共済、医療保障保険、賠償責任保険
新型コロナウイルスワクチン職域接種